

滋賀県塗装工業協同組合 SDGs 行動宣言

ひとと環境にやさしい色どりあるまちづくり

私たち滋賀県塗装工業協同組合は、SDGs (持続可能な開発目標) に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献することを宣言します。

私たちは昭和41年5月の設立以来、塗装工事業の県域業界組合として組合員の技術力向上を目指した技能検定や講習会の開催、後継者の育成などに力を注いできました。また、奉仕作業として公共施設等の塗装や防災かまどベンチの設置など社会貢献活動にも積極的に取り組んでおります。こうした活動を振り返り、業界の持続的な発展に向けて私たちが目指すSDGsを3つの柱にまとめました。これらの取り組みを通じて、ひとと環境にやさしい色どりあるまちづくりの実現に塗装工事業として貢献して参ります。

令和4年9月2日 滋賀県塗装工業協同組合 理事長 安藤 宏

人における取り組み

有機溶剤を含む塗料の取り扱いやアスベストが使用されている建築物への対処など危険物に関する正しい知識を身に付け、従事者の健康維持並びに近隣住民にとって安全で安心な施工に努めます。

高度な責任施行に対応できる人材を輩出するため業界として技能検定を通じた人材育成に取り組むとともに、将来を担う子供達が職業観・勤労観を育むきっかけとなるよう体験教室など学びの機会を提供していきます。

性別を問わず誰もが働きやすく、能力を発揮できる職業として理解が深まるよう、労働環境の整備をはじめ、業界として積極的な取り組みを実施し塗装業に携わる人材を増やしていきます。

塗装業としての取り組み

塗装は街の景観を育むだけでなく建物の機能性を高める大変重要な建築工程です。私達の技術が資産を守り、豊かで快適な暮らしを支える一助となっていることを働きがいにも経済成長にもつなげていきます。

塗装は原材料が液体という性質上、汎用性が高く、従来の使用用途以外の転用が大いに期待できます。私達は既存概念にとらわれず、業界の発展を目指し技術革新の可能性を探求します。

塗料に含まれる有機溶剤の適切な処分に加え、在庫管理を徹底し、組合内で融通しあう事で使用期限切れによる廃棄ロス削減を実現し環境負荷軽減に努めます。

地域における取り組み

防水性・防錆性・耐火性に優れた塗料を適切に使用することにより、災害に強い安全な街づくりを塗装技術で支えていきます。

環境配慮型 遮熱塗料の使用を提案・推奨することで省エネルギーに寄与し、炭素由来による発電を抑制することを目指します。

滋賀県と締結した災害時における応急対策活動の防災協定に基づき、災害時の復旧活動に業界として協力し、皆が安心して住み続けられるまちづくりの実現に貢献します。

3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を實現しよう



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



12 つくる責任つかう責任



11 住み続けられるまちづくりを



13 気候変動に具体的な対策を



17 パートナリシップで目標を達成しよう

